

東京都立大学附属高等学校同窓会  
2019年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

日時 2020(令和2)年1月26日(日) 14時  
場所 めぐろパーシモンホール1階「YAKUMO111」  
出席 20名

議案1 2019(平成31・令和元)年度上期事業報告(2019. 4. 1~2019. 9. 30)

以下の①~⑦について事務局より報告し了承を得た。

- ① 会報の発行(2019年6月30日発行)と配布状況  
印刷部数 9,000部  
発送部数 国内会員8,251部 特別会員(恩師)158部  
海外在住会員97部  
桜修館教職員・PTA・生徒に配布170部
- ② 第71回記念祭の取り組み(2019年9月7日、8日)  
例年通りB棟2階201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展。  
(府立高校以来の歴史的資料・写真展示、年表掲出、DVD 終日放映など)  
8日(日)13時より合唱イベント「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌を歌おう」を、A棟B棟をつなぐ2F コンコースで実施。旧制府立卒業生の参加は1名のみとなった。  
台風のため記念祭全体の終了が1時間早まった。
- ③ 第7回「八雲が丘賞」  
今回は、八雲が丘賞に前期サッカー部、八雲が丘賞奨励賞に前期女子バスケット部を選出、記念品代10万円、5万円をそれぞれ贈呈した。台風のため記念祭翌日の閉祭式が行われなかったため、八雲が丘賞の表彰式は、10月19日(土)の前期終業式の会場で行った。  
運動部が受賞したのは今回が初めて。2団体が受賞したのも今回が初めてである。
- ④ 八雲が丘学友会  
5月18日(土) 第37回会合  
桜修館校長挨拶、新副校長紹介、PTA 新役員紹介など。  
八雲が丘学友会の収支報告、残高 2,607,923円  
9月21日(土) 第38回会合  
桜修館の部活で4つの部が全国大会に出て活躍。かるた、弓道など。
- ⑤ 桜修館、桜修館同窓会の現況  
海外との交流。ニュージーランドの高校からラグビーチーム来校。11月にシンガポール修学旅行。ASEANの学生30人ほどが来校。トルコ大使が来校して講演。  
15期生の受け入れは、12月初めに願書配布説明を行った。960人ほどが適性検査を受け、2月9日に合格発表する。  
桜修館同窓会は、関西でも同窓会活動が始まった。在校生との進学相談と大学案内を実施。全国大会へ出場した部活への支援。

## ⑥ 会議

3月15日 拡大会報編集委員会

5月14日 2018年度会計監査

7月6日 2019年度上期「理事・監事・評議員会議」

## ⑦ <先行>下期の報告

第5回ホームカミングデー(10月13日)

特別版ホームカミングデー第2回(11月27日)

会場は、抽選の結果いずれも「めぐろパーシモンホール・小ホール」で開催することが出来た。第5回は第19期生と第44期生が対象。特別版は当初、第1期生から第11期生を対象と考えていたが、参加者の見通しから12期生～14期生も加えて実施した。

## 議案2 同窓会の財政状況

今期予算比若干の赤字となる見通し。ホームカミングデー2回の会場費がかかったこと、八雲が丘賞に奨励賞を出したことなどが経費増の要因である。会費収入は微増の見通しとなっていることなどを、口頭で報告した。

## 議案3 今後の活動計画（2019年度下期および2020年度）

### ① 会報の発行

2020年6月30日発行予定。A4判12Pまたは16Pカラー。

印刷予定9,000部、配布対象＝会員・特別会員約8,700部、

桜修館関係170部、桜修館同窓会40部

編集委員会 3月13日(金)予定

4月30日原稿締め切り、5月編集作業、6月組版、校正、印刷製本、発送

### ② 名簿の管理(2020年1月18日現在)状況と各期クラス別住所不明率

会員総数 14,353名

住所判明者 8,295名 (海外在住96名、会報受け取り拒否51名、特別会員との重複2名含む)

死亡 713名、住所不明 5,345名

特別会員(恩師) 296名

住所判明者 155名、死亡69名、住所不明72名

(個人情報保護に関しては2018年10月の総会で承認の通り)

各期・クラス別の「不明率」は、不明率10%までのクラスが増え、50%超のクラスが減っている。各期理事の努力とホームカミングデー効果によるもの。

会報1回発行につき200名程度の「あてどころに尋ね当たらず」の住所不明者増があるが、一方で不明者を減らす努力の結果、昨年比71名の不明者増にとどめた。今後もホームカミングデーの開催などを通じ、住所判明者の増加に努力する。

### ③ 第72回記念祭への参加、出展計画

昨年同様 B 棟201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展する。

府立高校以来の3校の年表掲出、資料・写真の展示、DVDの放映、日曜に「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」合唱イベント実施。かつて合唱イベントの中心は旧制府立OBだったが、今後は都大附高の卒業生の参加増を図る。「音知」の協力を得られないか、検討する  
都大附高時代の資料、写真の収集努力を強化し、展示拡大に努める。

④ 第8回「八雲が丘賞」

3月末に、桜修館に団体または個人の推薦を依頼する。受賞候補がでたところで、7月4日の理事会または持ち回り理事会で、授賞者、団体を決定する。  
文化部、運動部の別にはこだわらないが、来年度はまた文化部のほうの落ち着きが良いとの意見もある。

⑤ 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」の実施

会場は、めぐろパーシモンホール・小ホールの確保に努める。開催時期は、9月末、10月、11月のいずれか。3回ともホールの抽選に外れた場合は、桜修館多目的ホールを会場とする。その場合の懇親会の会場については検討課題とする。第6回の対象卒業期は、第20期と第45期。

⑥ 八雲が丘文庫の再建、卒業生著書収集の再開

＜現況＞現在、「八雲が丘文庫」の書籍収集は停止している。直接の原因は、4年ほど前に自身の「著作」ではなく「蔵書」を多数送ってきた同窓生がおり、桜修館としては対応できないということになったものである。

図書内に専用の書架が2台あり、収集停止前の寄贈書籍を「持出し禁止」で並べているが、文庫の主旨が在校生に周知されているとは言い難い。

＜再建の方向＞①同窓会内に八雲が丘文庫担当を置く。担当者は定期的に桜修館で寄贈本の整理にあたる。いずれ文庫所蔵の寄贈本のリストを作成する。

②寄贈本は、桜修館の担当福校長がメモリアルルーム内の八雲が丘文庫用ロッカー（新設）で一時保管する。

③寄贈本は卒業生自身の著作に限り、2冊までとする。

④寄贈本には、八雲が丘文庫の特製ステッカーを張り、扉内に何年の卒業生であるかを明記する。貸し出しは自由とする。

⑤寄贈本の展示場所は桜修館と相談のうえ、図書室以外にも置けるようにする。

⑥同窓会報次号で、寄贈受付開始を告知する。

（注）以上をもとに、2月15日の八雲が丘学友会で桜修館と協議、一部修正のうえ合意をみた。修正点は、寄贈本は「一人2種類、1冊ずつ」まで。  
桜修館内に八雲が丘文庫の担当者を置いていただく。校内に八雲が丘文庫用の書架の必要があれば、「八雲が丘学友会」が購入する、など。

⑦ 八雲が丘学友会の活動と桜修館同窓会との連携

学友会の定期会合はこれまで通り年4～5回の開催としたい。桜修館同窓会の参加で若年向けの新たな活動ができないか検討する。桜修館の現役自治会役員などとの交流も拡大する。

⑧ 懸案事項

桜修館への移行時に失われた都大附高時代の資料、写真の収集に努める。  
同窓生による課外授業、講演の実施と、同窓会としての社会貢献活動について、引き続き実現に努める。

桜修館との交流の一環として先生方に理事会などに参加してもらえないか検討。

⑧ 今後の会議などの予定

1月26日(日) 2019年度下期「理事・監事・評議員会議」(=本日)

3月13日(金) 拡大会報編集委員会

5月上旬 2019年度会計監査

7月4日(土) 2020年度上期「理事・監事・評議員会議」

9月初旬 記念祭準備、第72回記念祭

10～11月 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」

**議案4 その他**

＜継続＞同窓会執行部の体制について

それぞれの担当者の保有データを、複数で持つようにし、事故などがあっても対応できる体制とする。

今後、二人担当制を実現する。

以 上